

平成28年10月31日  
九州電力株式会社

仏国原子力安全局で確認された原子炉容器等における  
炭素偏析の可能性に係る調査結果の報告について

当社は、原子力規制委員会からの指示（平成28年8月24日）に基づき、原子炉容器等について、製造方法及び製造メーカーを調査し、その結果を本年9月2日に同委員会に報告しました。（平成28年9月2日 お知らせ済み）

本日、玄海原子力発電所1～4号機及び川内原子力発電所1，2号機の原子炉容器等に規格を上回る炭素濃度領域を含む可能性がないことを確認し、その調査結果をとりまとめ、同委員会へ報告しました。

当社は、今後とも、原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

[原子力規制委員会指示]

平成28年8月24日 玄海2～4号機及び川内1，2号機

平成28年9月29日 玄海1号機

以上